

日本学術会議地球惑星科学委員会IUGG分科会IAG小委員会（第25期・第1回）  
議事要旨

日時： 令和3年4月16日（金）13:00～15:00

会場： Zoomによるオンライン会議

【出席】 古屋正人，青山雄一，荒木博志，市川隆一，伊藤武男，小澤拓，太田雄策，田中愛幸，宮原伐折羅，渡邊俊一（敬称略）計10名

【欠席】 若杉貴浩 宮崎真一（敬称略）計2名

配布資料

資料1： 第4回IAG Executive Committee報告

資料2： GGOS Japan設置要領—改正案

資料3： GGOS Japan設置要領—改正理由

資料4： GGOS Japan報告会報告

議題

1. 役員の決定について

25期の発足にあたって委員長、副委員長、幹事を選出する必要があり、審議の結果、古屋氏を委員長、田中氏を副委員長、市川氏を幹事として選出した。

2. 議事要旨の提出に関する委員長一任について

古屋委員長より提案があり、審議の上、これを承認した。

3. 小委員会委員間のメールアドレス共有について

古屋委員長より提案があり、審議の上、これを承認した。

4. IAG General Assembly 2021について

古屋委員長より、完全オンラインで実施することが測地学会員に連絡済みであること、宮原委員（GGOS President）より1日3セッション程度、口頭発表数は現地開催の場合と同程度確保する予定であること等が説明され、初めてのオンラインでの会合が成功するよう積極的な投稿を呼びかけるよう両氏より依頼があった。

（5）第4回 IAG Executive Committee 報告

宮原委員より3/23, 3/26のオンライン会合で議論されたIAGの各活動に関し、資料1に基づいて報告があった。日本からは宮原氏のほか大坪氏が参加した。Commission 2より重力のIGRFの実装について科学会合で決議したいと提案があったが、科学会合での決議は前例がないこと、およびFrameとするにはまだ議論が不十分との指摘があり、2023年総会での決議に向けて検討を継続することとなった。

本会合は年2回、EGUとAGUで開催してきたが最近ではコロナ禍のため不規則である。

（6）GGOS Japan設置要項改定について

宮原委員より、GGOS Japanの活動内容と参加メンバーに関する規定の改定案が資料2、3に基づいて提示され、これを承認した。

(7) GGOS Japan報告会について

宮原委員より、3/19にオンライン開催されたGGOS Japan報告会について資料4に基づいて説明があった。特に、GGOS本体でも進められている測地データDOI等のアウトリーチ活動の重要性について強調された。

(8) その他

国土地理院の若杉貴浩委員が職場の異動に伴い委員の継続が困難となったため辞任の申し出があり、これを承認した。また、若杉氏の後任として国土地理院の高木悠氏が新委員となることを承認した。